



## 念願の全国優勝

8/6 全国小学生中学生マウンテンバイク大会

第5回全国小学生中学生マウンテンバイク大会が8月6日、白馬村で開催され、4年生の部で穂高北小学校4年の二村航平君が優勝しました。

大会は、白馬スノーハープ特設コースで行われました。4年生の部には、27人が参加し、1周1,400mのコースを3周で競い合いました。2位を1分以上離す快走でゴールした航平君は「第1回から参加していて、これまでマシントラブルや転倒などで、どうしても優勝できなかったので、初優勝できてうれしかった。将来はオリンピックを目指したい」と話してくれました。



## 世界の實力を肌で感じる

8/15 三井住友海上女子柔道部柔道教室

アテネ五輪の女子柔道金メダリスト・上野雅恵選手など、世界でもトップクラスの選手を抱える三井住友海上女子柔道部が8月15日、三郷文化公園体育館で地元の小中学生を対象に柔道教室を開きました。

夏合宿で三郷地域を訪れていた同部はこの日、各選手が得意技を披露し、そのコツを子どもたちに伝授しました。実際に選手たちと乱取り稽古に望んだ子どもたちは「技が早くてびっくり」と、世界のレベルを肌で感じた様子でした。

## 幽玄の世界を楽しむ

8/19 信州安曇野薪能

信州安曇野薪能が8月19日、明科龍門湖公園特設能舞台で開かれました。この催しは、旧明科町で夏の風物詩として行われてきた水郷明科薪能が名称を変更して開催されたもので、今年で16回目になります。

今回は、人間国宝である片山九郎右衛門師による舞囃子「恋重荷」、青木道喜師による能「井筒」、茂山千五郎師による狂言「千鳥」、片山清司師による半能「石橋」などが公演されました。会場は、情感あふれる能と舞囃子の上演に酔いしれ、狂言では、酒屋の主人と太郎冠者のやり取りに笑いが起きていました。

この日は、市内外から約1,100人が会場を訪れ、かがり火に照らし出される幽玄の世界を楽しみました。



## 安曇野を花いっぱい

9/9・10 アルプス花街道10周年記念イベント

アルプス花街道10周年記念イベントが9月9日と10日の両日、スワンガーデン安曇野で行われました。

アルプス花街道は、安曇野を訪れる皆さんを気持ちよく迎えたいと始まりました。10周年を迎える今年は、より多くの人に花街道事業をPRすることと、地域間の交流を深めるために企画されました。

9日には、市内の中学生が描いた図案を基にした花のじゅうたんや花のアートの展示や親子工作教室などが行われました。10日は、ちびっこのど自慢や落語、じゃんけん大会などが行われ、会場は多くの家族連れなどで賑わいました。



## まるで太陽の子どもたち

8/10 ほりがね物産センター南のひまわりが満開

旬の味ほりがね物産センター南で、春の菜の花とともに有名になっているひまわりが、今年も満開となりました。梅雨明けが遅れ、例年より1週間程度開花が遅れましたが、8月中旬に太陽が照りつけるようになると、まるで太陽の子どもたちが生まれたかのように一斉に咲き誇りました。

このひまわりは、9月末に刈り取られ、約250kgのタネが収穫される見込みです。このタネから搾られたひまわり油は、10月29日に開かれる堀金特産祭りで、販売される予定です。



## お盆に合わせて各地で催し

8/12 三郷ふるさと夏祭り・8/14 明科花火大会

夏の恒例行事として地元で親しまれている、三郷ふるさと夏祭りと安曇野水郷明科花火大会が、お盆休みに合わせて開催されました。

三郷ふるさと夏祭りは、8月12日に三郷文化公園で開催されました。帰省した人たちと地元の人たちが集まり触れ合える場を作りたい、と始まった祭りは今年で21回目。およそ4,000人が会場を埋め、踊りや歌などのステージ発表やビンゴ大会などで夏の夜を楽しみました。祭りの締めには約1,000発の花火が打ち上げられ、火の粉が降りかかるほど間近に見える花火に歓声があがっていました。

8月14日の安曇野水郷明科花火大会では、昨年より800発多い3,300発の花火が犀川中州から打ち上げられました。約5万5,000人が見物に訪れ、主催者は「多くの皆さんから感激の声をいただいた」と、大会の手ごたえを話していました。